

集乳車両搭載「電磁流量計」精度検査

十月一日 三次CS

集乳車両 全十六台を検査 乳量・サンプラー適正数値を確認



(事前に水量を計ったポリバケツの水を吸うCS職員)

三次CSでは、生乳出荷組合員の皆さんが生産された生乳の適正な集乳と受託、そして、乳質に影響する適正なサンプル採取を行うため、広酪が委託する集乳業者等の協力を得て、集乳車両に搭載する「電磁流量計」の精度検査及び「オートサンプラー」の適正サンプリングの確認を行った。これには広酪に集乳業務を委託する中国生乳販売の担当職員も立会い確認にあたった。

対象車両は、予備集乳車両を含めて十六台。それぞれ集乳業務を終えた集乳車両が順次、三次CSに集まり、作業は正午から午後六時までの六時間を要した。

電磁流量計の精度検査は、「五十kg」、「百kg」、「百五十kg」に分けて、事前に水をポリバケツに溜めてデジタル台秤で計った重量と、電磁流量計との重量表示に誤差がないかを確認。オートサンプラーにおいては、吸い込み時に適正なタイミングと量が採取されているかを確認した。

何れの検査も適正な数値を確認し、信頼ある適正な集乳業務が行えることを中国生乳販売及び広酪、委託業者間で確認できた。三次CSでは年二回の定期検査を実施しており、次回は三月を予定している。

飼料用稲刈取開始

九月十日 庄原市

飼料用稲 百五十二ha刈取開始 刈取機六台で適期刈取を

広酪は、平成三十年九月十日(月)から、平成三十年産飼料用稲の収穫を始めた。収穫面積は約百五十二haで、前年度は天候不順による収穫適期の遅れから、飼料用稲刈取機を二台増やして六台を効率良く稼働させ、十二月七日に作業を終える予定である。

刈取開始日には、安全かつ円滑な作業を行うため、(株)キセキ中国から収穫機械の操作手法を学び、刈取を開始した。



会議だより

実地棚卸監査

九月二十日

組合の各事業場ほか

監事3名・資産確認

後案勝也代表監事ほか2名の監事は、平成30年度上期末の実地棚卸監査を行った。3名は3コースに分かれて、組合の各事業場の購買品、市乳商品、生乳、現金のほか、平成30年度産飼料用稲WCSの保管先に赴き現物数量の確認にあたった。

